

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【公開番号】特開2017-40843(P2017-40843A)
 【公開日】平成29年2月23日(2017.2.23)
 【年通号数】公開・登録公報2017-008
 【出願番号】特願2015-163399(P2015-163399)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 9/08 3 1 1

G 0 3 G 9/08 3 2 5

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 8 1

G 0 3 G 9/08 3 8 4

【手続補正書】
 【提出日】平成30年8月16日(2018.8.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 0 】

該イソソルビドユニットが上記範囲であることで、該相溶化度 B を下げることができる。特に、該非晶性樹脂 B が低分子量であっても、該相溶化度 B を低く制御することができる。0 . 1 m o l % 以上含有することで、該相溶化度 B を十分に低くできるため、より良好な現像性が得られる。また 3 0 . 0 m o l % 以下であることで、高湿環境下においても該非晶性樹脂 B の硬さや帯電性を十分に保持できるため、より優れた現像性を得ることができる。該イソソルビドユニットの含有量としては 0 . 1 m o l % 以上 1 5 . 0 m o l % 以下であることがより好ましい。該イソソルビドユニットの含有量の制御は、該非晶性樹脂 Bの製造に用いるモノマーの種類によって制御可能である。例えば、該非晶性樹脂 B がポリエステル樹脂である場合、モノマーとしてイソソルビドを用いればよい。なお、該イソソルビドユニットの含有量の測定方法については後述する。

また、該非晶性樹脂 B の製造に用いるモノマーとして、ビスフェノール A のエチレンオキサイド付加物を用いることも好適である。上記モノマーを添加することによっても、該相溶化度 B を制御することができる。